

MUD21

〒020-0045
盛岡市盛岡駅西通 2-2-8
J R 東労組盛岡運輸区分会
運転士分科会
NTT 019-651-9236
J R 033-3216
発行人：坂田康志 NO. 50
編集人：情宣部 2020.9.7

あたたかい声が新聞に載りました！

岩手日報 8月21日

花時計

思わぬ場面に

主婦

(74)

朝から曇り空。このところ自然災害や新型コロナウイルス感染症、事件のニュースで心が晴れない日が続いていた。今日は用事が重なり、盛岡駅着10時ごろの在来線に乗り、久しぶりに外出した。

電車の中の乗客はマスク姿で、話し声も聞こえない。もうすぐ盛岡に、というとき、栗石川の水かさが増え、身をやじり鉄橋を渡る瞬間に窓から眼下を見た。

「水量は減ってきている…」と思ったとき、土手側に横断幕を持った数人の男女が目についた。薄いブルーのワイシャツ制服姿だ。とっさの出来事なので自信がないけれど「長い間の乗務、ご苦労様でした」というような言葉が書いてあった。

「えー!?」と思いつつ、ゆっくり電車を降り、ホームに立つ車掌さんに尋ねた。「運転していた方は今日が最後なのではないですか?」「そうです」の返事。

階段方向に歩いて行くと、電車の先頭に人だかりができていた。その中心に花束を抱いた運転士さんと、奥さまだろうか。にこやかなお二人の撮影会。ほっこりと心温まる光景に、ご本人や職場の皆さんのお気持ちや伝わり、「幸せのおすそ分け」をいただきたいようだった。

夕食時に、新婚時代は車掌をしていた夫にこの話をした。今日の運転士さんは私と同じ誕生日。一つ年を重ね、新たな人生を歩んでいかれることだろう。



これは、7月30日熊谷貢治さんの最終乗務2525Mでのシーンだと思います。運転士分科会では、長年にわたり安全・安定輸送を担っていただいた先輩の最終乗務（指導員の方は最終添乗）の際、職場での出迎えをし、退勤点呼後には最終乗務セレモニーを開催してきました。長年の労をねぎらい、感謝の気持ちを伝えるためです！退職される先輩や鉄道を利用されているお客さまにも想いが伝わっていると思います！

感謝の気持ちを大切に、セレモニーを継続していきます！！